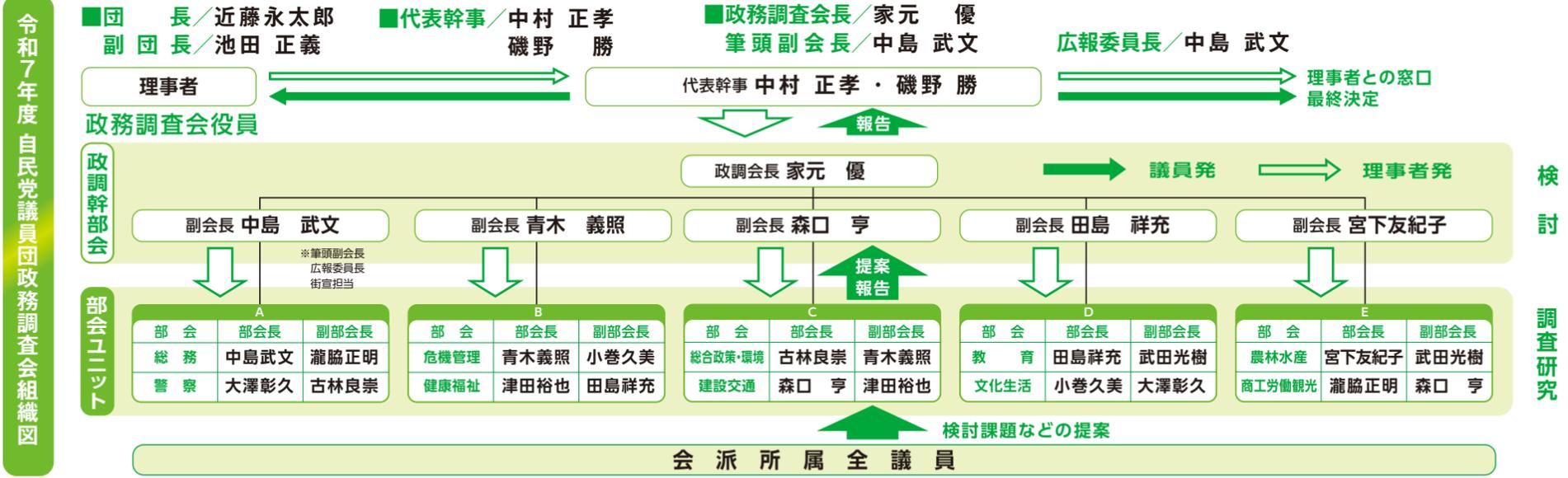




令和7年度5月臨時会を経て新体制が発足しました



京都府議会議長 / 荒巻 隆三 副議長 / 兎本 和久 京都府監査委員 能勢 昌博 藤山 裕紀子

- 常任委員会
- 総務・警察
 - ◎中島 武文
 - 能勢 昌博
 - 近藤 永太郎
 - 石田 宗久
 - 荒巻 隆三
 - 大澤 彰久
 - 危機管理・健康福祉
 - ◎家元 優
 - 磯野 勝
 - 池田 正義
 - 青木 義照
 - 津田 裕也
 - 文化生活・教育
 - 中村 正孝
 - 藤山 裕紀子
 - 渡辺 邦子
 - 森口 亨
 - 武田 光樹
 - 政策環境建設
 - ◎古林 良崇
 - 田中 英夫
 - 片山 誠治
 - 兎本 和久
 - 小巻 久美
 - 農工商労働
 - ◎瀧脇 正明
 - 秋田 公司
 - 四方 源太郎
 - 宮下 友紀子
 - 田島 祥充
- 特別委員会
- 安心・安全な暮らしに関する
 - ◎宮下 友紀子
 - 小巻 久美
 - 田中 英夫
 - 石田 宗久
 - 中島 武文
 - 子育て環境の充実に関する
 - ◎青木 義照
 - 家元 優
 - 池田 正義
 - 四方 源太郎
 - 瀧脇 正明
 - 魅力ある地域づくりに関する
 - ◎田島 祥充
 - 津田 裕也
 - 秋田 公司
 - 藤山 裕紀子
 - 磯野 勝
 - 新技術と社会づくりに関する
 - ◎森口 亨
 - 大澤 彰久
 - 近藤 永太郎
 - 能勢 昌博
 - 中村 正孝
 - 文化力と価値創造に関する
 - 武田 光樹
 - 渡辺 邦子
 - 片山 誠治
 - 古林 良崇

- ◎…委員長 ○…副委員長 △…理事
★…議会改革検討小委員会委員長 ☆…議会改革検討小委員会委員
- 議会運営委員会
- ◎△中村 正孝 △★磯野 勝 ☆池田 正義
☆家元 優 ☆宮下友紀子 ☆青木 義照
津田 裕也
- 予算特別委員会
- ◎池田 正義 ○中島 武文
- 政策調整会議
- 座長 / 宮下友紀子 森口 亨
- 広報広聴会議
- 座長 / 古林 良崇 瀧脇 正明
- 京都地方税機構議会
- 中村 正孝 磯野 勝
- 関西広域連合議会
- 渡辺 邦子

令和7年度一般会計6月補正予算 総額 54億9,000万円

- 【冒頭提案】(6月11日)
- ◆米関税措置等の影響を受ける中小企業者の経営強化等の取組を支援 **1億2,000万円**
 - ◆経営改善に取り組む医療機関等への支援 **10億700万円**
 - ◆人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを加速化(公共事業) **38億4,000万円**
- 【追加提案】(6月23日)
- ◆LPガスを利用する消費者への支援 **2億9,000万円**
 - ◆食材費の高騰により厳しい運営が続く子ども食堂等を支援 **1,000万円**
 - ◆府内の農林水産業を支える食品加工業者の持続的な経営を推進 **7,000万円**
 - ◆農業者等が行う高温対策や品質向上に繋がる設備導入を支援 **4,000万円**
 - ◆バス事業者等が行う二種免許取得推進や採用活動など運転士確保の取組を支援 **7,000万円**
 - ◆府議会議員補欠選挙の執行経費 **4,300万円**

政務調査活動

高知・愛媛・徳島・広島にて、各地域ならではの特徴や取組の先進性のみならず、今抱えている課題や今後の展開について認識を深めることができた。今後の府政の推進に反映させていきたい。

令和7年3月 海上自衛隊第1術科学校



自民党京都府議会議員団

府民の声をお聞きし、その思いを実現してきました。
お困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。

令和7年6月定例会において自民党議員団は以下の質問を致しました。

※6月定例会での質問内容の一部抜粋です。詳しくは京都府議会のHP録画中継でもご覧頂けます。



6月定例会 代表質問

- ①アリーナ周辺環境の整備の進捗
- ②中小企業対策 ③文化が活きる京都
- ④無差別殺傷事件への対応

向日市
磯野 勝



(問1)向日町競輪場周辺整備の進捗は?(答)周辺道路の拡幅や大原口交差点改良工事、及び福祉会館から北側500mの物集女街道拡幅事業に着手した(問2)米国の関税措置による影響を受けた中小企業への支援策は?(答)コーディネーターの配置やジェット口とも連携し、米国以外の販路開拓も視野に入れた伴走支援をする(問3)文化庁移転の効果が実感できるような施策は?(答)文化庁と連携した芸術祭の実施や東京で開催されてきた国宝・重要文化財展覧会を京都で開催する等、今後も京都から文化政策の潮流を生み出したい(問4)無差別殺傷事件が多発している。犯人逃走中、二次被害防止や体感治安向上は?(答)捜査員総動員等の初動捜査の上、地域への情報発信と共に他府県警察への派遣要請も行い警戒に当たる

- 1.大阪・関西万博の状況
- 2.京都府の観光政策と観光事業
- 3.京都府の高校教育と府立高校が果たすべき役割

福知山市
家元 優



①関西パビリオン京都ゾーンの来場状況や来場者の感想、反応は。入場料を支援している府内の子どもの万博体験の状況は。開幕から2か月が経過して万博会場内における府の取組の評価と、これからどのような点に力を注いでいくのか。②万博来場者を府内各地に誘客する「京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業」の現状は。府北部地域への誘客の状況は。観光客の分散化、広域周遊観光、文化財を活用した観光事業の今後の展開は。③府立高校の再編整備の考え方と方向性、今後の進め方は。興味関心に応じた学習「学びのWEBラボ」、高校生の創造性を掻き立てる「京都探究エキスポ」の成果と今後の展開は。特色ある教育活動を展開するため、府立大学系属校をはじめ、大学や企業との連携をどう進めるのか。

- 生成AI活用で論争の時代を超える!
- 府市の協調と府有資産・林業の活性化で「あたたかい京都づくり」を実感する!

中京区
青木 義照



▶コンテンツ関連における府と市の連携強化と地域展開について
府市トップミーティングの進化と成果を、「ピットサミット」などコンテンツ振興等を通して府域全体に波及させる方策を問う。
▶府有資産の利活用とマネジメント体制について
未利用・低稼働の府有資産からは逸失利益が生じているため、分散管理体制を改め、全庁横断の視点で資産評価・用途転換を進めるプロジェクト体制の恒常化と、民間活力の導入による収益性と公共性の両立を提案。
▶林業振興と木材利用による成長産業化について
「豊かな森を育む府民税」のもと、防災機能を備えた森林整備や公共・民間施設での木材利用促進などを通じて、地域経済の好循環を図り、環境価値と収益性を併せ持つ成長産業として位置づけるべきと訴える。

- 北陸新幹線・小浜京都ルートは行き詰まっている。府北中部に駅を作る新しいルートの再検討を国に求めるべき!

綾部市
四方源太郎



北陸新幹線の現行案に対する府民の反対の声はすでに科学では説明できないものだと考える。知事は府庁で唯一の政治家として政治決断を下すべきだ。政治責任から逃げてはいけない。

他にも「府立農業大学の強化・充実について」などを質問しました。
京都府は府立農林水産技術センター(亀岡市)を綾部市にある府立農業大学の用地に移転することを計画しています。移転の時期や機能強化の内容等について質問したところ、移転時期の具体的な言及はありませんでしたが、「移転を実現するための環境づくりに向けてソフト・ハード両面から取り組みを開始している」と知事から答弁がありました。早期移転に期待します。

- 問全ての人活躍できる社会の実現を! 障害のある人もない人も一緒に活動できる場をつくり、社会参加を進める。

京丹後市
森口 亨



問インクルーシブ教育の推進は? 子どもたちが互いの個性や多様性を認め合い、共に学び、共に育つ意識を育む教育を推進することが重要だ。特別支援学校と近隣の小中学校を連携校とし、共に学ぶための仕組みづくりについて研究を進める。インクルーシブ教育の指針を今年度中に策定し、保護者や地域、学校現場等と方向性を共有し、推進に努める。
問人口減少社会でも持続可能な京都府の構築は? 問広域連携で社会資源を最適化するなど、オール京都の力を結集し、既存システムを前提とせず、発想を抜本的に転換して人口減少対策に取り組む。
問新たに盛土規制法が適用される地域に丁寧な説明を! 問丁寧な制度の周知に努めるとともに、市町村や関係団体の協力も得ながら制度の適正な運用を図っていく。

- ①住宅の更なる耐震化の促進と支援
- ②孤独死を防ぐ地域づくりと孤立支援
- ③自転車交通違反の周知と利用環境整備

下京区
小巻 久美



①南海トラフ地震等に備え、住宅の耐震化の更なる支援、高齢者や単身者に対し、相談体制の強化、手続き支援等、伴走型支援体制の強化、特に木造密集地域や旧市街地の実態を認識し、耐震化を進めて頂きたい。
②京都SKYセンターにおいて高齢者の孤立を未然に防ぐ為の、地域ネットワークの強化の方針はどうか。また、孤立死ゼロに向けた施策の強化、誰かにつながっていると実感できる地域共生社会をどのように実現するのか。
③令和6年11月施行の改正道路交通法によって、自転車の危険行為に対する罰則が大幅に強化された。府民への周知、広報をどのように進めているのか。交通環境の改善、特に自転車通行帯の設置と駐車対策の強化に、取り組んで頂きたい。

- ①京都の酒の支援について
- ②地籍調査等の推進について
- ③来日外国人対応と地域の安全について

伏見区
瀧脇 正明



①日本酒をはじめとする「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録された今こそ「京の酒」輸出拡大と府内に酒蔵を有する地域への観光誘客へのチャンスと考えるが、酒米の高騰などにより厳しい経営環境の酒蔵への支援を強く要望した。
②地籍は土地の戸籍ともいわれており、災害時の迅速な復旧・復興のためには重要な情報といわれるが京都府の地籍調査の進捗率は都道府県別で最下位という状況であるため実施主体である府内各市町村への取り組み支援を要望した。
③来日外国人によるマナー違反行為など様々なトラブルが発生しており、トラブルを未然に防ぐためにも外国人に向けたマナー啓発活動など地域住民の安心・安全を確保するための取り組みを要望した。

- ◎山科駅及び駅周辺が、特急「はるか」山科駅延伸により期待される経済波及効果等をしっかりと享受できるように、府市協調・府市連携で整備に取り組むことを要望

山科区
大澤 彰久



◆きょうとこどもの城づくり事業について
米価格の高騰や長引く物価高騰の中で、子ども食堂等の支援団体が持続的に活動を続けられるよう、単年度・一時的な支援にとどまらず、より安定的かつ包括的な支援体制の構築していくことを提案。
◆京都版市町村連携型ふるさと納税について
「京都」というブランドを窓口に、各市町村の魅力や特産品を全国に発信して、税収増につなげていく画期的な取組であるので、寄付者への情報発信やプロモーションの強化等を提案。
◆教職員の働き方改革について
「働きやすさ」や「働きがい」といった視点が重視された「教職員働き方改革推進計画」に基づき持続可能な教育環境の整備及び教職員が安心して働き続けられる環境の構築を提案。

- 全国都市緑化フェアin京都丹波について
- 南海トラフ地震の対応について
- 持続可能な農業政策への転換について

亀岡市
田中英夫



●来年亀岡市南丹市京丹波町で開催される全国都市緑化フェアは京都府では32年ぶり、皇室をお迎えしての植樹祭など我が国最大の花と緑の祭典である。
京都丹波の魅力発信、誘客促進、開催後も地域振興につなげるためには広域自治体としての本府の果たすべき役割が重要。府の取組を問う。
●30年以内の発生確率80%程度、震度最大7、死者29万8,000人(府内死者1,600人全壊建物64,000棟)と予測される南海トラフ地震、発生時の対応や広域的な相互支援の体制構築について問う。
●国は食料自給率向上へ農業構造の転換を図っている。府は農業生産者の経営が持続可能な方策の確立と共に生産性向上策に於いて農地の大区画化やスマート化のみならず本府の中山間地農業への視点も国へ強く提言を。